

金蘭会Tokyo

金蘭会東京支部会報



2006 May. No.13

編集・発行/金蘭会東京支部(大阪府立大手前高等学校同窓会)
事務局/阪本弁護士事務所内
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-2 みつビル3F
ホームページ/ www4.airnet.ne.jp/t-kinran/

学年だより

昭和十七年度入学

榮木 英子 (昭和21年4卒)

私達は改革の多い学生生活でした。学区制で入学し、半分は夫々の職場に別れて動員生活、そして終戦、四年で卒業し進学した人、又五年生で卒業した人達もありました。従って卒業年次は昭和21年と22年に別れています。
東京近辺に在住の十七名のうち出席出来る人達で、年一回食事会をしています。年を重ねて出席する人も少なく、昨年四月六日に吉祥寺で八名集まり食事をした後、池のほとりでお花見をしながら、今後は、東京支部総会に出席し二次会で学年会をすることに話し合いました。

大阪の学年会は二年に一回の集まりです。

「四つ葉」と NPO「エガリテ大手前」

古久保俊嗣 (昭和48年卒)

一昨年の当番幹事として、ディズニースhowerで三百名の大総会を企画運営した。ミッキーや福井日銀総裁と写真に収まった方も少なくなく。準備を通して、旧友の絆が一気に深まり、同期会「四つ葉会」が結成された。そして、NPO法人「エガリテ大手前」(エガリテは仏語で平等)に発展した。百年前の日露戦争の頃、先輩たちがボランティアで女学校(金蘭会学園)を始めたという。戦後はリベラリズムが校内に満ちていて。そこで学べた幸せに感謝したい。時代は今、男女共同参画社会を求めている。大手前伝統の精神と理念を継承した取り組みを目指している。活動については「アエラ」3月6日号に掲載、詳細は <http://egaliteotomae.fc2web.com/index.html> をご覧いただきたい。

初めて総会に出席して

森 茂子 (昭和56年卒)

今回、同期の小川理子さんのピアノ演奏目当てに初めて金蘭会総会に出席しました。会場では母校から離れた地での開催とは思えないほど多くの出席者に驚かされました。同期の昭和56年卒では女性6名が出席です。同級生だった友人はもちろんのこと、在学中は交流の無かった者同士も、授業や先生方の想い出話、近況報告と盛り上がりました。

お目当ての小川さんのピアノは馴染み深い曲目揃い。素晴らしい演奏に大いにジャズを楽しみました。旧友達と楽しい時間を過ごし、参加してよかったと思うと共に、皆の活躍に自分もまた仕事に育児に頑張ろうと思いを強くしました。次の機会には、やはり大手前卒業生の母も誘ってみようかと思っています。

Topics/News/Information 2006

●仲間募集...二子玉(にこたま)会

東急田園都市線二子玉川駅のおしゃれな街通称「二子玉」に、世代を越えて集まりませんか?沿線以外の方も大歓迎。10月の週末に予定していますが、詳細はご連絡いただいた方へ後日お知らせします。

連絡先 竹村 泉 (昭和48年卒)
TEL 045-984-6362
Email izumi-t@email.plala.or.jp

●久下真理(くげまり)さん (昭和50年卒) ピアノコンサートスケジュール

- 5/12(金)~16(火) 『アンコールオレンジツアー』 大手前金蘭会主催 香岐・対馬方面クルーズング豪華客船「ふじ丸」船上にてコンサート2回、歌の指導など...詳しくは金蘭会HPで
- 6/3(土) 15時~ 神戸・世良美術館
- 7/9(日) 上野精養軒 金蘭会東京支部第82回総会出演
- 7/23(日) 14時~ 兵庫県立芸術文化センター・小ホール 『久下真理とワルシャワの名手たち』

●小川理子さん (昭和56年卒) CD発売...昨年総会出演のジャズピアニスト "RIKO" のメジャーデビュー 「スウィングン・ストライド SWINGIN' STRIDE」 ビクターエンタテインメントより発売中¥3,000 (税込)

●金蘭会東京支部ホームページ <http://www4.airnet.ne.jp/t-kinran/> 支部の最新情報をご覧になります。メールアドレス登録もこちらからお願いします。

編集後記

金蘭会Tokyo第13号をお届けします。スタイル一新から3年目、今まで紙面充実より継続発行が精一杯。会員の皆様のご寄稿、広告掲載など引き続きご協力をお願いします。ご意見ご感想、ご提案、お問合わせなどお気軽にホームページにお寄せください。

ジャズ・ピアノとワインに酔った総会

第81回金蘭会東京支部総会は2005年7月10日明治記念館で盛大に開催された。今回は「ジャズピアノとワインを味わいながら、懐かしい友と語らうひと時」というテーマで、昭和56年卒の小川理子さんのすばらしいジャズピアノの演奏と歌をバックに、赤白のワインと食事を楽しんだ。ワインを提供くださった49年卒の合田泰子さんからは、ワインの楽しみ方について語っていただいた。

明治神宮外苑の一角に位置する会場は、緑豊かな庭園を擁し都会の喧騒をしばし忘れさせてくれた。220名の参加者はジャズとワインに心地よく酔い、若き日の学生時代に戻り友との語り合いに時を忘れていた。



継続は金、ワインはゴールド

中原精一 (昭和49年卒)

金蘭会東京支部の存在を知ったのは、第79回の総会が終わった頃、クラブの先輩から呑みに誘われてからだった。こういう集まりがあったのか。同期の小原君に連れ

同郷の縁さらに深まりて

金蘭会東京支部副支部長 阪本 清



金蘭会東京支部は三千人近い巨大支部に育ちました。この間多くの先輩のご

尽力があったことに感謝いたします。昨年の明治記念館に続き今年には上野精養軒でと、いずれも名門にして足の便もよい会場で支部総会がもたれます。

SYMPATHIQUE MIRAFESTA

LiFF

IMPORT GARMENT & TEXTILE

S.P.A

〒107-0062 東京都港区南青山2-4-12
Tel.03-3403-3474 Fax.03-3403-3410

後藤武夫 (昭和43年卒)

ARCACLAVIS

Secure LOCKEY

ICカード 情報セキュリティ モバイル

<http://www.nettime.co.jp>

中原精一 (昭和49年卒)

RACINES

ワインはそのつくり手の署名入りの作品。

ラシーヌ 代表取締役社長 合田 泰子

造り手のメッセージがこもる優れたワインを、良いコンディションのもとでお届するのが、ラシーヌの使命です。ワインの仕入れに携わって18年。この間フランス、イタリア、スロヴェニア、スペイン、オーストラリア各地の造り手を訪ねて参りました。ワインの探索の旅には終わりがなく、常に進化しています。個性豊かな味わいのラシーヌ・セレクトションで、お楽しみください。

東京都新宿区三栄町18-20 パークサイド四谷5F
Tel.03-5366-3931 Fax.03-5366-4870
E-mail:info@racines.co.jp

(昭和49年卒)

工藤会計事務所

税理士 工藤 充
税理士 工藤 節子

Tel. 03-3364-3645
Fax. 03-3360-1720
E-mail: m.kudou@mbf.nifty.com
(メールでのご相談は無料で承ります)

〒161-0033 東京都新宿区下落合1-1-1102 (高田馬場駅 徒歩2分)

工藤節子 (旧姓: 西村 昭和42年卒)

られて反省会に出席したのは、未だ暑い頃だった。その時は、まだ自分たちが総会の幹事を担当することの意味はあまり分かっていなかった。そして、80回総会後の秋になり、私たちが諸先輩方がこれまでされてきたのと同様に、久しぶりの同期が集まり、総会・懇親会の企画をし、時に真剣に議論し、大変な結束力を持って準備をし、そして本番を迎えた。

われながら(お前じゃない、という突っ込みがありそうだが)おしゃれなテーマ、「ワインとジャズ」。



も、奥村副支部長に「同期のみんなを紹介しなくちゃ」と促され、壇上で同期のみんなでご挨拶させて頂いて、大役を終えることが出来た。閉会のあと、来年の幹事の皆さんに引継ぎを...。こうして、伝統は引き継がれていくのだ。継続することの大切さをつくづく感じる。もちろん、東京近郊に住む同期の面々との付き合いが始まり、深まったのは、言うまでもない。

私の世代ですと、ほとんどの者は就職して初めて東京近辺に住むようになり、知らぬ他国で身を寄せ合うように同期同窓が集うた感がありました。若い頃の貧弱な人脈の中では金蘭会人脈の存在は格別ありがたいものだったのです。すつかり東京人になった今でも「なつてない、なつてない」との大合唱)同期の仲間との会合は年数回にはとどまりません。

また外側に通産局とBKという超一等地、ゴジラとアンギラスが闊つて(映画です)、まだ十年にもならないあのお堀端で、共に学んだ縁は鶏が鳴く坂東の地でさらに深まってくるようです。

- 昭和42年 大手前高等学校卒業
- 昭和47年 京都大学法学部卒業
- 昭和49年 弁護士登録
- 平成4年 最高裁判所司法研修所教官
- 平成14年 朝日信用金庫監事
- 平成15年 日本ミルコムユニティ株 監査役

大阪城の彼方



作家

下重 暁子さん

(昭和30年卒)

大阪城公園の東側にあたるホテル・ニューオータニのバーから、夜景をながめる。深い森が闇に沈み、照明が城を鮮やかに浮かび上がらせている。右肩に、鎌のような細い月を待らせて。
谷町から馬場町と府庁やNHKの建物の横を通った時は、胸がどきどきした。高校時代、どの位こ

こにかよったろう。軍人だった父の官舎が府庁の裏にあった関係で、私は歩いて大手前高校に通った。おかげさまでいえば、始業のベルが鳴ってから走っていつても間に合った。
大阪城は、私の散歩コースであった。大手前の真向いから入り天守閣への石段を登る。テストがうまくいかなかった時も、先生から注意を受けた時も、この高みまで来れば、つまらぬことに思えた。
大阪城の西側は当時も、観光客が訪ずれるべく、整備されてはいたが、東側はまだ一面の焼野原のまま、所々に鉄骨が空を刺していた。鉄くず拾いをテーマにした、大島渚監督の映画「太陽の墓場」

の舞台である。
深い堀の向うは、別世界で、はるか桜の宮から鶴橋の方まで、戦禍のなまなましさ、手つかずのまま残っていた。
石垣に腰かけて、この風景を見続ける。夕日が沈むまで。残された鉄骨が一瞬黄色に輝くことがある。「この風景を忘れてはならない」私はくり返し心の中で呟いた。
高校生活を終え、父のふるさとである東京の家にもどった。私たちは、父の転勤について大阪に行き、信貴山上に疎開した。敗戦と共に父は公職追放となり、高校時代の我が家は苦しかった。戦時中、父は自分がなりたかった絵描きの友人達の応援をしていたので、戦

後は、その人たちが私たちを助けてくれた。戦争をはさんで価値の崩壊を目のあたりにし、私は一生自分一人は自分で食べさせると決心した。
それから四十数年、大学を出て放送局に入り、その後念願の物書きになり、六十代の終り近くになって、昨年日本自転車振興会の会長という思いがけぬ仕事について。民間からはじめての人事だった。その日も大阪での表彰式を終えてホテルに泊ったのだ。
長い道のりが森の闇に沈み、大手前高校はその彼方にあつた。鎌のような尖った月が大阪城の真上にさしかかっていた。

日本版ビッグバンと市場の発展



浦西 友義さん

(昭和44年卒)

(株)東京証券取引所執行役員
3年前に財務省を退職し、東証に入社した。当時はその春に株価が底を打ち、ようやく上昇に転じたところであり、現在のような株式市場の活況は想像できないものであった。今回のシステム関係の障害等で投資家の皆様をはじめ多くの方々にご迷惑をかけたが、再発を防止するとともに、世界に誇

れるシステムの再構築に努めたい。ただ、最近の我が国の金融資本市場を巡る大きな環境変化は、日本版ビッグバンと呼ばれる規制緩和の成果がようやく実を結びつつある証でもあると考えている。
日本の金融制度は昭和の初めから大戦の直前までに作られたものが多いが、戦後においても基本的にその構造は変わらなかった。バブル崩壊後の経済の停滞の中で、金融資本市場の活性化こそ日本経済の復活のきっかけになるのではないかとということ、95年から、国際金融局の担当課長として、内外の資金の動きを自由にする外為法の改正に取組んだ。この規制緩和は、自由化を通じて、東京市場をニューヨーク、ロンドンに負け

ないようにはしようとするものであった。後に、この改正は金融ビッグバンのフロント・ランナーと呼ばれるた。
その後、97年から3年間、ロンドンで金融担当公使として過ごしたが、日本の金融機関にとっては厳しい時代であった。帰国後、金融庁の監督局で金融機関の不良債権問題の処理に取組んだ。昨年、ほぼ不良債権問題が解消したが、当時を振り返ると、感慨深いものがある。退職直前は、関税局でWTOやFTA(自由貿易協定)の仕事に従事したが、日・ASEANのFTAが完成すれば、日本は、貿易のみならず金融の面でも、アジア経済ひいては世界経済の発展に一層貢献できるであろう。東証

がそうした動きの中で、ひとつの牽引車としての役割を演ずることができれば、幸せである。



東京証券取引所 Tokyo Stock Exchange

八十一歳で現役です

中濱 昌子 (昭和16年卒)

私は昭和三十六年より横浜市保土ヶ谷区で内科小児科を開業しております。今も毎日診療に従事しております。子ども達を診ていますと時代の推移が手に取るように分ります。又、年齢を重ねている方達から「頼りにしています。」と云われますと嬉しい反面とても責任を感じます。

一昨年国際女医会が二十八年ぶり日本で開かれました。その初日(七月二十八日)にご臨席なされました皇后陛下に拝謁を許され二回もお言葉を頂きました。一生の良ただ感動いたしました。

き想い出になりました。

高等女学校時代の想い出としては教練があつたことです。男子の中学校でも木銃を使つていた所もあつたのですが、母校では当時女子ばかりでしたが三八銃で重かつたです。大阪城内の国防館館長の萩原大佐が教官でもと厳しかつたです。よく華奢な身体でやり通したと思います。戦時中鍛えられたからこそ今があるのだと感謝しています。

一年一組の思い出

富士晴之助 (昭和28年卒)

私は昭和二十五年(一九五〇年)に、新制高校第五期として入学し

ました。振り返って見ればもう五十五年も昔です。一年は一組で生物を選択したクラスでした。担当の先生も生物が御専門の中來田先生でした。
このクラスは、大変賑やかで皆とても仲の良いクラスでした。基本的に女性方が活発でハキハキしておられ、男達は従って行く感じでした。本当に明るい楽しいクラスで、実は一昨年先生も交えクラス会が開催されましたし、他に少人数で別荘に泊り込んだり、温泉旅行や会食を楽しんで居られるようです。小生も昨年数人の男女が昼間集まる大阪での会食に参加させて頂きました。どうして一年

のクラスだけなのか判りませんが、或いは「当分勉強しなくても良い」という解放感が働いていたのではないのでしょうか。
もう全員七十歳を越えました。それでも「顔を合わせれば忽ち青春」が戻って来ます。

「田園都市・半蔵門線の会」

隅田 邦子 (昭和54年卒)

第一回目となるこの会は、さわやかな秋晴れの中ワイン片手に親子二代のご参加もあり、幅広い年代の方々と共に素晴らしいひと時となりました。最初、緊張気味だった私も楽しい会話に加えていただき、心地よさに時を忘れる程でした。皆様の青春時代のお話に相槌を打つたり驚いたり、特に戦時中の高女時代のお話は心に残りました。こうして何世代にもわたる同窓生が会していることに改めて学校の歴史を痛感いたしました。次にお目にかかれまますのを楽しみにしております。

つよき信念に…たかき理想に

バスケット部OBより

森田 剛 (昭和50年卒)

30数年前、並みいる私学の強豪を相手に、母校の歴史に残るチームとなりながら、もう一歩で全国大会出場を夢を断たれたのがつい昨日のことのようです。しかし、それが、あの赤チャートよりも、我々の人生における大きな礎になったといつても過言ではありません。多感な時期に同じ目標に向かって共に進めたことは、奇跡であつたのかも知れません。

恩師の庭野先生は退官後、プロバスケットリーグ「大阪エヴェッサ」の監査役として活躍されています。私はというと、今も夢

を抱いて、余剰有機物でフィリピンの火山灰地を植林、農地化する事に打ち込んでいます。

今回、50年卒が東京金蘭会の幹事をすることになり、OBOGとの旧交を温める機会をいただきました。これを機に年次を越えて、庭野先生共々元気を増幅させていきましょう。

恩師の庭野先生より

「ご声援をよろしくお願いします」

昨年11月、日本初のプロバスケットボールリーグ「bjリーグ」が開幕しました。仙台、新潟、埼玉、東京、大分と共に、大阪からは「大阪エヴェッサ」が参戦しました。金蘭会東京支部の皆様もご声援を是非よろしくお願いします。

プロバスケットボールチーム 大阪エヴェッサは、「威風堂々」と戦い、貪欲に勝利を目指します。そして、大阪に愛される存在であり続けます。



http://www.evessa.com

庭野孝夫 保健体育科教諭・バスケットボール部顧問(昭和43年～平成8年) bjリーグ・大阪エヴェッサ監査役(平成16年～)



昨年10月2日(日)二子玉川のレストランにおいて開催された地区会に、沿線付近にお住まいの16名が集まり、楽しいひとときを過ごしました。

●支部会計報告(平成16年度) 平成16年1月1日～12月31日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越	5,713,670	総会補助費	1,377,304
支部会費	825,000	支部運営費	317,292
	(内訳)		(内訳)
終身会費分	675,000	会議費	13,553
年会費分	150,000	事務所使用料	60,000
		会報印刷代	55,100
雑収入	680,000	通信費	8,825
貯金利息	144,125	HP費用	22,680
		雑費	157,134
		次期繰越金	5,668,199
合計	7,362,795	合計	7,362,795

●金蘭会東京支部データ●

■会員数	2,695名
女性	1,283 47.6%
男性	1,412 52.4%
■卒業年代構成	
～大正	21 0.8%
昭和元～10年	114 4.2%
昭和11～20年	283 10.5%
昭和21～30年	340 12.6%
昭和31～40年	680 25.2%
昭和41～50年	778 28.9%
昭和51～64年	387 14.4%
平成元年～	92 3.4%

※数字は2006年3月31日現在

- 平成16年8月から平成17年7月にご連絡をいただき第81回総会にてご報告・黙祷いたしました。謹んでご冥福をお祈りいたします。
- | | |
|-------------|------------|
| 吉井 頌子(T6) | 坂本 好子(S20) |
| 石井 久子(T12) | 依田 喜代(S20) |
| 見市 一子(T13) | 峯 央(S21) |
| 天羽 清香(S2) | 吉田 延(S23) |
| 潮見 静子(S5) | 下村 淳錫(S26) |
| 一條 美智子(S6) | 矢野 博通(S27) |
| 寺島 一三(S6) | 小野 直生(S29) |
| 宮内 撰(S9) | 鹿田 幸生(S30) |
| 松山 澄子(S9) | 古山 力也(S31) |
| 川島 サワ子(S10) | 西郷 知三(S31) |
| 前田 トキ子(S12) | 久保 勝広(S35) |
| 岩崎 玉枝(S13) | 讚岐 栄三(S53) |
| 藤多 歌子(S15) | |
- 敬称略(内は卒業年度)